

ゆき市 議会だより

Yukicity council information

第204号

令和元年11月1日

第3回定例会

幼児教育・保育の無償化に
係る補正予算を可決



茨城県代表



東京都代表の優勝の瞬間



本市出身の谷島花虹選手 (東京都代表)

幼児教育・保育の無償化 に係る補正予算を可決

第3回定例会 ▼ 会期17日間 9月11日～27日

市長提出案件 21件(すべて原案のとおり可決)
議員提出案件 1件

●議案第41号令和元年度結城市一般会計補正予算(第2号)

PICK UP

10月から幼児教育・保育 の無償化が始まります。

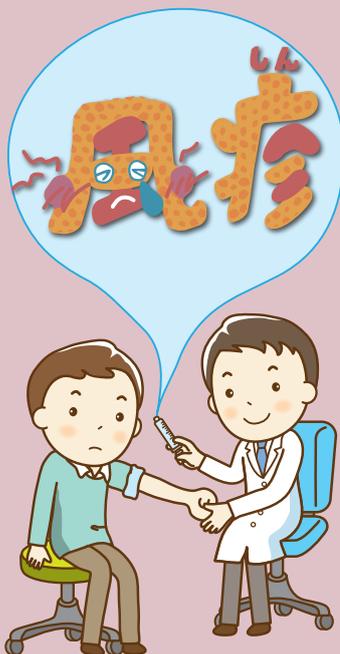
無償化の対象となる認可外保育施設や一時預かり保育事業、病児保育事業、ファミリーサポートセンター事業等を利用した児童の保護者に対する施設等利用給付費、私学助成幼稚園及び幼稚園の預かり保育事業を利用した児童の保護者に対する施設等利用給付費を増額しました。また、私学助成幼稚園に通い副食費免除対象者となる児童の保護者に対する補足給付費を増額しました。



PICK UP

風しんの予防接種を実施 しています。

国が推進する風しんの追加対策に基づき、風しん抗体検査の受検と抗体を持たないことが判明した方への予防接種を促進するため予防接種事務経費を増額しました。



人事案件

以下の方の選任について同意
選任第7号 公平委員会委員 鈴木 洋子氏

請願

請願第2号
「労働者協同組合法」(仮称)の早期制定を求める
意見書の提出を求める請願(継続審査)

新市長が初の議会へ所信表明を述べる



1 徹底子育て支援

- ・ 不妊治療費の助成拡充と妊婦検診費用負担の軽減
- ・ 3歳児以下の預かり事業や奨学金制度の拡充

2 文教都市・結城を創る

- ・ 学校再編による小中一貫校の創立と県内1位の学力向上
- ・ アクロス・けやき公園を核とした各種イベントの有効活用
- ・ 北部市街地の重要伝統的建造物群保存地区の指定を目指す

3 みんなにやさしい行政サービス

- ・ 窓口ワンストップ化の推進や出張所機能の強化、証明書等交付手続きの住民サービス向上
- ・ 行政事務の見直し、外部委託などによるコスト削減

4 安心・安全な地域社会

- ・ 通学路の整備、防犯灯・防犯カメラなどの設置の推進
- ・ 交通手段のない高齢者等を支える新制度の構築
- ・ 自治会活動や各種サークル活動等の活性化を図るために、顔の見えるコミュニティづくりを推進

5 強い経済で雇用を増やす

- ・ 起業家や新しいビジネス創出支援
- ・ 農業の担い手となる新規就農者の支援、6次産業化の支援
- ・ 企業誘致や地元企業を支援するため新たな工業団地の造成

第3回定例会の初日9月11日に、小林栄新市長が議会へ所信表明を述べました。

翌9月12日、13日の一般質問では、市長の公約である小中一貫校の創立についてや今後のまちづくりについての質問があり、新市長の市政運営の方針を問いました。

※一般質問の内容は、6P参照

所信表明とは

市政運営の基本姿勢やまちづくりの取り組み方針について述べること。

第3回定例会 議決結果

議案	議決結果	秋元 勇人	石川 周三	滝沢 利明	上野 豊	大里 克友	土田 構治	會澤 久男	大橋 康則	佐藤 仁	平 陽子	安藤 泰正	立川 博敏	黒川 充夫	早瀬 悦弘	稲葉 里子	大木 作次	船橋 清	孝井 恒一
議案第41号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第42号～議案第50号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第51号～議案第53号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第54号～議案第58号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第1号	決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○
認定第2号	決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
選任第7号	選任可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
請願第2号	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※○は賛成 ●は反対 ☆議長 大木作次は採決には加わらない

議案	件名	内容
議案第41号	令和元年度結城市一般会計補正予算(第2号)	主に、幼児教育・保育の無償化実施に伴う各種事業の増額等により、歳入歳出それぞれ2億3,640万円を増額するもの
議案第42号	令和元年度結城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	主に、職員の新陳代謝に伴う職員等人件費の減額等により、歳入歳出それぞれ208万余円を減額するもの
議案第43号	令和元年度結城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	主に、職員の新陳代謝に伴う職員等人件費の減額等により、歳入歳出それぞれ631万余円を減額するもの
議案第44号	令和元年度結城市介護保険特別会計補正予算(第1号)	主に、平成30年度事業の実績報告に基づき、負担金、交付金及び補助金を返還するための過年度精算還付経費の増額等により歳入歳出それぞれ7,096万余円を増額するもの
議案第45号	令和元年度下館・結城市計画事業結城南部分二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	主に、職員の新陳代謝に伴う職員等人件費の減額等により、歳入歳出それぞれ151万余円を減額するもの
議案第46号	令和元年度下館・結城市計画事業結城南部分三土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	主に、職員の新陳代謝に伴う職員等人件費の減額等により、歳入歳出それぞれ550万余円を減額するもの
議案第47号	令和元年度結城市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	主に、脱水ケーキが増加したことにより、その処分を行うための施設管理経費の増額等により、歳入歳出それぞれ530万余円を増額するもの
議案第48号	令和元年度結城市水道事業会計補正予算(第1号)	主に、資本的支出では第4次拡張事業費を増額する一方で施設整備費、配水管更新事業費を減額するもの
議案第49号	結城市森林環境譲与税基金条例について	森林環境譲与税の創設に伴い、当該譲与税を財源とする基金を設置し、管理及び処分について規定するもの
議案第50号	結城市印鑑条例の一部を改正する条例について	住民票に旧氏の記載がされている場合には、印鑑登録原票の登録事項及び印鑑登録証明書に記載事項に当該旧氏を追加するもの
議案第51号	結城市農業集落排水処理施設使用料条例の一部を改正する条例について	農業集落排水処理施設使用料の消費税率を「100分の8」から「100分の10」に改正するもの
議案第52号	結城市下水道条例の一部を改正する条例について	下水道使用料の消費税率を「100分の8」から「100分の10」に改正するもの
議案第53号	結城市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	主に水道料金及び水道加入金の消費税率を「100分の8」から「100分の10」に改正するもの
議案第54号	結城市災害用慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	災害援助資金の貸付けに係る償還免除要件を拡充するとともに、免除等の決定のための調査権限の付与について規定するもの
議案第55号	結城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童支援員の要件として、都道府県知事が行う研修を修了した者のほか、指定都市の長が行う研修を修了した者を加えるもの
議案第56号	結城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	代替保育の提供に係る連携施設の確保義務の緩和、食事の提供の特例に係る外部搬入施設の拡大、准看護師の配置の特例等について規定するもの
議案第57号	市道路線の認定について	市道2612号線は、地域住民の生活道路として利用されており、その整備及び維持管理が必要であるため、新たに認定するもの
議案第58号	市道路線の廃止について	市道3074号線は、県道矢畑横倉新田線バイパスの開通に伴い、路線が重複することから、認定を廃止するもの
認定第1号	平成30年度結城市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年度決算において議会の認定を求めるもの
認定第2号	平成30年度結城市水道事業会計決算の認定について	平成30年度決算において議会の認定を求めるもの
選任第7号	結城市公平委員会の委員の選任について	2Pに記載
請願第2号	「労働者協同組合法」(仮称)の早期制定を求める意見書の提出を求める請願	2Pに記載

平成30年度 決算の状況

会計区分	一般会計	特別会計
歳入	175億8,290万7千円	117億2,961万1千円
前年度比	▲1.9%	▲10.6%
歳出	166億5,170万5千円	114億6,198万6千円
前年度比	▲1.6%	▲10.0%

企業会計		
水道事業		
収益的	収入	12億2,087万1千円
	支出	11億2,514万1千円
前年度比	収入	▲0.2%
	支出	0.6%
資本的	収入	3億4,057万1千円
	支出	6億8,920万1千円
前年度比	収入	33.2%
	支出	5.2%

ふるさと結城応援寄附金 推進事業

450万円



インターネットサイトを活用し、「ふるさと結城応援寄附金」制度の推進を図った。また、返礼品協力企業募集要項を一部改正し、より多くの事業者が返礼品を提供できるようにした。

30年度決算 注目事業

第3回定例会では、決算特別委員会が設置されました。委員長に佐藤仁議員、副委員長に安藤泰正議員が就任し、市の予算が適正に執行されているか審査を行いました。

その中で、質問があった事業を紹介します。

ファミリーサポート センター事業

300万円



育児の援助が必要な人（利用会員）と、育児の援助ができる人（協力会員）との相互援助活動に関する連絡調整事業を委託した。

商業観光計画策定事業

210万円



商業の振興及び観光誘客を図るため、外国人を含めた観光客の誘致拡大、地域経済の活性化など本市の観光振興の方向性を明確にし結城市商業観光振興計画を策定した。

市内巡回バス運行事業

1,693万円



交通弱者である高齢者等の日常的な公共交通手段として、市内病院や公共施設等を結ぶ8路線を設定し、休日等を除き、市内巡回バスを運行した。

青少年健全育成のためスポ少へ支援を

公平性に配慮しつつ助成拡充を検討する



うえの ゆたか
上野 豊 議員

少年スポーツ活動は健全育成に大きく繋がる。

スポーツ少年団・部活動への支援について

問 スポ少活動への助成の現状について。

教育部長 結城市スポーツ少年団本部に対し、結城市スポーツ振興事業補助金として年額16万2千円を交付しており、この他市スポーツ協会から年額5万円が交付されております。

スポーツ少年団に登録せずスポーツ活動に取り組む児童との公平性に配慮するとともに、助成の

拡充について検討してまいります。

問 中学校部活動における遠征方法と助成について。

教育部長 総合体育大会と新人体育大会については、関東大会や全国大会に出場した場合は必要となる費用の一部に対し助成があるものの、県西・県大会への遠征に要する費用への助成制度はございません。近年の貸切バス料金の値上がりにより、各校とも県西・県大会参

加への遠征費負担が増大している。

市道・農道整備について

問 近隣市町の部活動への助成の現状はどうか。

教育部長 本市を除く県西教育事務所管内9市町のうち8市町では、県西・県大会の遠征について何らかの助成を行っております。

市道・農道整備について

問 舗装整備の優先順位について。

都市建設部長 市道の舗装新設条件は、生活道路としての利用度が高く、幅員が原則4m以上であることが必要でございます。その条件をクリアした上で、市政懇談会や一般要望で自治会や市議会などから要望をいただいた路線を確認し、緊急性、利便性、交通量及び財政状況等を勘案しながら優

先順位を決め、年次計画で対応しております。次に、農道の舗装整備は、現在、多くの農道整備の要望がある。緊急性、利便性や安全性、荷痛み防止を現地で確認した上で、年次計画により、順次実施しております。

県道明野・間々田線の整備について

問 現状と今後について。

都市建設部長 大木地区における整備の要望については、工事は県で施工することになりますが、明野・間々田線は本市において重要な役割を担う主要地方道ですので、県との仲介や地元説明会への協力など、要望実現に向け、サポートをしたい。

実施しております。



活性化に繋がる道の駅の創設を 引き続き方向性を慎重に検討していく



あんどう やすまさ
安藤泰正 議員

やらなければ、何もできない。

道の駅について

問 道の駅が結城市にあれば、活性化になると思いますが、新4号国道は1日5万台、国道50号は1万6千台で、多い時には合わせて10万台の交通量があると聞きます。道の駅創設に関し市長の考えを伺いたい。

市長 「道の駅」は、近年、農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性、魅力を活かした地方創生の取り組みとしても注目されております。



地域振興策の一つとして、効果が期待できることは認識しておりますが、一方で、莫大な費用や事業リスクもありますので、引き続き本市の方向性を慎重に検討してまいります。

医療福祉系大学の誘致について

問 結城市には、茨城県結城看護専門学校があります。これを土台として大学の誘致をし、看護師などの医療従事者の確保を目指してはいかがでしょうか。市長の考えを伺いたい。

市長 医療福祉系大学誘致は、地域活性化を図る上で確かに重要な施策であると思えます。なお、医療現場での看護職員不足は顕著であることは十分認識しております。今後

の見通しにつきましては、慎重に方向性を検討してまいりますと思えます。

東結城駅・小田林駅周辺の市街化について

問 結城市には、JR水戸線に東結城駅・結城駅・小田林駅の3つの駅があります。これらの駅から小山駅で新幹線を利用すると60分以内で東京駅に行くことができます。そこで、この駅の周辺を調整区域から外し、住宅を建てられるようにし人口増加を図ってはいかがでしょうか。

市長 南部土地画整理事業、北西部土地画整理事業による基盤整備の促進を図り、区画整理事業の進捗状況や人口の推移を考慮し、慎重に検討する必要があります。

小中一貫校の創立について

問 市街化調整区域内の6校の小学校で1学年が1クラス35人以下で、10人前後の小学校もあると聞いている。教育に格差があると思えます。この地域の小学校は統合し、小

中一貫校を提案したい。

市長 教育環境は大きな変革期を迎えております。そのような中、更なる教育レベルの向上を図ることが、大きな課題で義務教育9年間の系統性を確保した教育活動を実践する小中一貫教育の必要性は、益々高まっております。「文教都市・結城を創る」を実現するため、学校規模の適正化を含め、小中一貫校の創立について、検討を進めてまいります。

圏域行政が結城市に与える影響は

圏域の枠組みが異なった場合

検討すべき課題も多い

圏域行政について

問 制度が導入された場合に結城市で考えられる課題は。

市長公室長 これまで取り組んできた自治体連携と合致すれば問題ないが、

圏域の枠組み等が異なった場合は慎重に検討すべき課題も多いと推察している。本市は地理的に茨城県と栃木県の県境にあり、

市民の生活圏も小山市、筑西市、古河市など複数の自治体と密接に關係している実情もある。新たな

圏域の設定は市民生活に大きな影響を及ぼす可能性がある重要案件であり、

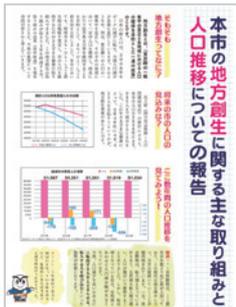
今後、急速に進む人口減少社会への対応、持続可能な地域づくりなど喫緊の課題に対し、単独自治体で成果を残していくことは至難の業であるが、

問 取り組んできている地方創生との関係性は。

市長公室長 国がこれまでの地方創生の事業や成果を評価検証せず、法制化により新制度を上書きするようなものであった場合、今までの地方創生

事業との関連性が懸念される可能性も秘めている。今後、急速に進む人口減少社会への対応、持続可能な地域づくりなど喫緊の課題に対し、単独自治体で成果を残していくことは至難の業であるが、

引き続き情報収集に努めて今後の本市の方向性を検討したい。



自主防災組織について

問 即応性の育成について。

市民生活部長 総合防災訓練への参加依頼や、県が毎年開催している「自主防災組織リーダー研修会」への参加を促し、組織力向上やリーダーとなる人材育成を図っている。

また、消防団員OBを中心に平成30年度委嘱した「地域防災協力員」40名に対し、自主防災会の活動と新団体結成に積極的に関わって頂くようお

願いしている。さらに、本市防災体制強化と、市民・市職員の防災意識高揚を図るため、本年度から筑西広域消防本部OBを防災アドバイザーとして雇用した。

願いしている。さらに、本市防災体制強化と、市民・市職員の防災意識高揚を図るため、本年度から筑西広域消防本部OBを防災アドバイザーとして雇用した。

問 本部と自主防災組織の連携訓練について。

市民生活部長 昨年度からメイン会場（市民文化センター・アクロス駐車場）の他、地域における避難訓練として、山川小学校、江川北小学校への避難を実施。山川地区、江川地

区の自主防災会の皆様や一般の方に参加して頂き、メイン会場と山川小学校・江川北小学校との通信訓練も行った。

今年度の総合防災訓練では、メイン会場の他、絹川小学校を避難所として開設。避難訓練・避難所体験等を計画している。自主防災会や近隣自治会等から参加を募り、訓練内容の充実と即応性の向上を図るとともに、新たな団体の結成を促進していきたい。



たちかわ ひろし
立川博敏 議員

地方創生は最後までやり遂げましょう！

複合的な視点に立ち検討していく 市民の使いやすい交通手段を



たきざわ としあき
滝沢利明 議員

どこにでも行ける便利な交通手段をお願いします。

巡回バスについて

問 巡回バスと病院送迎バスの接続について。

保健福祉部長 巡回バスは、高齢者を中心とした市民の日常的な交通手段として、利便性及び住民福祉の向上を目的に、土日祝日、お盆、年末年始を除き、午前7時30分から午後6時30分の間で、乗車定員13人のバスが2台と定員9人のバスが1台の計3台で運行しており、料金については、無料で運行しています。一

方病院送迎バスは、医療機関の患者を対象として柔軟性を持たせた区域運行を行っております。なお、巡回バスについては、結城病院、城西病院ともに、毎日乗り入れしており、皆様の通院の移動手段確保に努めているところでございます。

問 巡回バス以外の交通手段の計画について。

保健福祉部長 巡回バス以外の交通手段の計画については、少子高齢化や一部の地域への人口集中



が進展している中、免許返納等で交通手段の確保は非常に切実な問題となっております。地域での共助やボランティアの活用等の福祉施策も含め、今年度から策定作業を進めている第6次総合計画の中で検討してまいりますと考えております。

結城第一工業団地上山川北部地区について

問 新たな工業団地の計画と課題について。

産業経済部長 市外の優良企業の誘致はもちろんのこと、市内企業の事業拡張に比べ、本市の産業振興や雇用の増加を目指すためにも、新たな工業団地を検討する必要性はあると認識しております。今後の工業団地の課題についてでございますが、土地利用に関する法規制

の強化、雨水排水対策、今後の経済動向が挙げられます。まず、法規制の強化では、市街化区域内の未利用地や農用地区域外の開発については緩和されたものの、農用地区域を多く含む場合は規制が厳格化されました。

雨水排水対策については、雨水排水の最終的な放流先は、鬼怒川か西仁連川になり、鬼怒川においては流末整備が必要とされる水路が多く、西仁連川は放流量に規制があるなど費用の課題があります。また、今後の経済動向に

ついては、世界経済の先行き不透明感から、投資に関して、かなり慎重になつてきております。新たな工業団地については、総合的な土地利用を考慮しつつ検討を進めてまいります。



▲結城第一工業団地上山川北部地区造成工事

※一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

定住促進事業の今後は

国や県と連携し着実に実施していく

定住促進事業について

問 定住促進事業の課題解決のための今後の取り組みについて伺います。

あると感じられるような事業を着実に選択し、実施していきたい。

市長公室長 課題解決のための方策については、今年度以降も、国や県と連携し、予定されている事業を着実に実施していきたいと考えております。

市で実施している全ての事業は、広い意味では、すべて移住・定住に関連している事業であり、今後も、市民が住みよいため、住み続けたいまちで

今後、本市の人口は、自然減により、かなりのスピードで減少することが予想されるため、人口減少社会に耐えられるべき備えを行っていかねばなりません。市民の皆様、一人一人の存在感、責任感が相対的に増してまいりますので、きたるべき未来の本市を想像いただき、この難局を共に乗り越えていきたいと考えております。

あらゆる主体が協力・連携しながら事業に取り組むことが重要

中心市街地活性化について

問 住み良い結城市を創るためには市を構成するあらゆる主体が目的を共有し、協力・連携しながら事業に取り組むことが最も重要と考えます。市長所信の5つの基本計画の一つ『強い経済で雇用を増やす』の中で中心市街地を核とした産業活性化について、市長が描く将来像を伺います。

市長 中心市街地の活性化につきましては、私も

TMO結城の取締役として、長年携わっております。他自治体でも同じ課題をかかえる難しい課題であると認識をしております。幸い、本市には、結城紬や神社仏閣、歴史的な街並みなど、活かせる資源が豊富にあると考えておりますので、10〜20年後には、結城市商業観光振興計画の基本理念にあります「稼げる観光」が実現し、市街地に賑わいが戻ってくるよう、関係団体、そしてなによりも市民の意識を変えながら共に知恵を出し合って進めていくことが

10年後、20年後結城の旧市街地、北部市街地に活力と賑わいを取り戻すためにはその意識の変革が必要だというふうにも思っております。



▲北部市街地

あきもと はやと
秋元勇人 議員

人口減少社会を知恵を出し合い、乗り越えていきましょう!!

今後の検討課題とする 幼児教育・保育の無償化を



いなば さとこ
稲葉里子 議員

副食費無償化にも取り組んでもらいたい。

幼児教育・保育の無償化について

問 保護者負担となる副食費の無償化に取り組んだ自治体が11あります。徹底子育て支援の公約を掲げる市長に見解を伺いたい。

市長 副食費の無償化につきましては、対象児童が限定されていることなどを鑑み、総合的な子育て支援の枠組みの中で、今後の検討課題とさせていただきたいと思えます。

保育士の処遇改善について

問 保育士に対する処遇改善の取り組みは独自の事業として広がりを見せているが、市独自の助成について伺いたい。

保健福祉部長 保育士の技能・経験に応じ役職を新設し、月額5千円から4万円の処遇加算を行うことで保育士の確保に努めており、本市においても処遇加算を適用しているところがございます。また、市単独補助金として、市内民間保育施設に対して、保育所運営費に必要な経費として、児童一人当たり月額150円を支給する民間保育所等運営費補助事業や、重度障害児1人に対し月額75,400円、軽度障害児1人に対し18,000円を支給する障害児保育事業等を実施しており、民間保育所の運営を支援しております。

学童保育について

問 学童保育のため、徹底して教室を確保するくらい前向きな姿勢で余裕

教室の利活用を図っていただきたい。

保健福祉部長 児童数の増やニーズの高まり等により、新たな学童クラブを整備する必要性が生じることも考えられますので、施設を管理する市教育委員会と連携を深め、また協議を十分に活図ってまいりたいと考えております。

問 学童保育の利用状況と待機児童について伺いたい。

保健福祉部長 本年5月1日現在の登録児童数は、15クラブの合計で464人です。また、現在、本市においては、待機児童はおりません。

ましては、今後総合的な検討を進め、現場の声をしっかりと聞きながら、子育て支援の充実を図っていきたいと考えております。なにか一番子育て支援になるのかを、実際に子育てをしている世代の意見をしっかりと聞きながら、対策を進めてまいりたいというふうに思っております。

問 子育て世代の負担軽減のため、子どものため、基金を創設していただきたい。市長の見解を伺いたい。

市長 子育て支援策につき



商工業活性化への振興策について

稼げる観光を目指し各種事業を開始した



いしかわ しゅうぞう
石川周三 議員

商工業発展とともに結城市の活性化を願います。

巡回バスについて

問 巡回バスの停留所の利用人数について。

保健福祉部長 121か所の停留所のうち、平成30年度の利用人数が一番多い停留所は、結城駅北口停留所で、年間延べ乗降者数が19,122人、2番目が筑西遊湯館停留所で2,846人、3番目が林市営住宅停留所で2,239人となっている。また、利用人数が一番少ない停留所は、泉停留所で年間乗降者数

6人、2番目が見晴町停留所で7人、3番目が結城南中南門前停留所で10人となっている。

問 利用頻度が低い停留所の対策について。

保健福祉部長 巡回バスが市民の皆様には十分認知されていない現状もあると思われまます。今後は、利用促進に向けた周知・PRに力を入れていきたいと考えております。

問 停留所のイスや屋根の設置要望について。

保健福祉部長 巡回バス利用者の方から、イスや屋根の設置を希望されるご意見が数件寄せられております。歩道上にイスや屋根を設置することに

関しましては、安全面で設置後の歩道幅員が確保されていることや地下埋設物が無いことなどの条件をクリアしたうえで、道路管理者や警察署の許可が必要であり、設置費用、維持管理費など経費もかかるため、イスや屋根の設置につきましては、慎重にならざるを得ない状況がございます。

空き家・空き店舗の現状について

問 空き家対策協議会設置の進捗は。

産業経済部長 設置要綱の作成や協議会委員の選定、関係団体との調整など、協議会の設置に向けて準備を進めています。

「空家等対策計画」策定の進捗状況は、令和2年度に「空家等対策計画」の策定及び実用に向けて準備を進めているところでございます。



問 商工業活性化のための振興策について。

産業経済部長 本市では、空き店舗を解消するため

商工会議所が行う「中小企業相談事業」を支援している。また、起業しようとしている方が中心市街地の空き店舗で出店を

希望する場合には、開業時の初期経費として「空き店舗等活用事業補助金」で支援しております。観光誘客につきましては、平成30年度に「結城市商業観光振興計画」を策定し、稼げる観光を目指し各種事業を開始したところでございます。

問 商工会議所との連携について。

市長 商工会議所に限らずあらゆる事業所、団体に協力を求めていると思っております。

真に必要とする人員の確保に努める

職員採用についての今後の方針は



あいざわ ひさお
議員 澤久男 会

市役所への就業について

問 正職員を採用する場合の年齢要件について伺います。

市長公室長 毎年度、採用試験の募集要項を作成し、その中で事務職のほか、保育士、保健師といった専門職など、職種ごとに、募集人員と年齢を定めているところです。事務職の年齢については、県の年齢を参考に定めており、ここ数年は、29歳以下としております。

また、専門職の年齢については、県及び近隣自治体の年齢を参考に定めており、各年度において、30歳以上の年齢を設定し、募集を行っております。特に専門職については、各分野における有資格者として、行政サービスの低下を招かないよう、各年度における退職者数や年齢階層を勘案しながら、状況によっては年齢要件を緩和し、積極的な採用を実施しているところですが、

問 職員採用についての

お考えと今後の方針について伺います。

市長 採用人員は、業務の効率化、アウトソーシングの拡充等を図り、市全体の業務量や市民ニーズを的確に捉え、真に必要なとする人員の確保に努めてまいります。また、本市の未来を切り拓くことのできる有望な人材を確保するため、採用情報のPR活動を広く、かつ効果的に行うとともに、公務員を目指す方に「選ばれた自治体」となれるよう、積極的に取り組んでまいります。

事務作業へのRPA導入について



でまいります。

問 概要について伺います。

市長公室長 RPAとは、ロボティックプロセスオ

ートメーションの略語で、これまで人間が行ってきたパソコン上で行う定型的な入力作業を、ソフトウェアのロボットにより自動化する技術です。

問 導入の費用について。

市長公室長 RPAツールは、海外で開発されたものから国内で開発・リニューアルされたものまで多種多様にあり、付加価値の有無によって費用に差はありますが、一般的にシナリオ作成ツールが月に約6万円、シナ

リオ再生用ツールが月に約2万円のライセンス料になると言われております。その他、シナリオ作成支援業務は別途必要となり、対象業務やネットワーク環境によって金額は変動するものと思われ

問 導入の予定について。

市長公室長 今後も本市にとって最適なRPA導入に向けて調査研究を進め、引き続き業務の改善とRPAツールの比較検討を実施してまいります。

副食費を免除した場合の費用は

試算で約5,200万円が必要



たいら ようこ
平 陽子 議員

幼児教育・保育の無償化について

問 この10月から、3〜5歳の保育料は無償になりますが、一方、昼食などの副食材料費（月4500円）を、保育施設が保護者から実費徴収することになります。完全な無償化にはなっていないですね。

市独自の減免を実施する市町村も出てきました。今後の取り組みについて伺います。

保健福祉部長 3〜5歳の入所児童で副食費が免除にならない割合は約80%となります。年間総額約5,200万円が各施設に保護者から副食費として支払われると見込んでおります。

保育所の副食費は無償化制度開始に伴い、新たに保育所が保護者から徴収することになります。今後は市や保育所から保護者に対して、副食費徴収についてご理解をいただけるよう、丁寧な説明を行ってまいります。

商店版リフォーム資金補助金制度について

問 結城市では今年3月に「結城市商業観光振興計画」を策定しました。課題としても「飲食店の数・質の充実」が3番目に挙げられています。「商店版リフォーム資金補助金制度」が商店を応援する制度として注目されています。その予算化を求めます。

産業経済部長 本年度予算要求をいたしまして空き店舗活用補助金との抱

水道料金改定について

問 近年では老朽化した水道施設の更新・耐震化の必要性が高まる中、水需要の減少とともに、給水収益が減少しています。「水道料金の改定につ

都市建設部長 水道事業審議会の方針で現行の料金体系と大きく変わります。基本水量の廃止、メーター使用料を基本料金に含め水道料金体系を口径別料金体系に変更することです。

き合わせではありませんが、確保することができました。現在、補助金交付要項を作成しているところでございます。早急に制度を整え募集ができるようにしてまいります。

井戸の掘削については、井戸の掘削については、

井戸の掘り直しが認められませんでした。今後は県水の受水費も含め可能な限り費用の削減を図りながら、適正かつ計画的に事業を進めていきたいと考えております。

井戸の掘り直しが認められませんでした。今後は県水の受水費も含め可能な限り費用の削減を図りながら、適正かつ計画的に事業を進めていきたいと考えております。



巡回バスの土・日の運行について 費用対効果や運行方法等を検討する



おおさと かつとも

大里克友 議員

10年後を見据えた公共交通
を考えて欲しい。

公共交通について

問 巡回バスが土曜日、日曜日に運行しない理由について伺います。

市長公室長 巡回バスにおいては、市が直営で実施しており、現在でも朝夕の安全管理の面で問題がある状況と認識しており、土日においては市役所及び運転手の派遣元である結城市シルバー人材センターが休日のため責任者が不在であることから、実施してこなかった経緯がございます。また、

民間の交通事業者の営業を圧迫することがないよう、市は平日の運行に努めてきた経緯がございます。市民アンケート調査でも土日の運行希望がありました。今後、費用対効果や運行方法等を検討し、できるだけ市民の要望に沿った形で運行してまいりたいと考えております。



デマンドタクシーの導入について

問 近隣自治体の状況について伺います。

市長公室長 デマンドタクシーを運行しているのは、常総市、下野市、野木町になります。コミュニティバスとデマンドタクシーとの組み合わせで運行しているのは、古河市、筑西市、坂東市、桜川市、小山市、栃木市となっております。地域の実情に応じた形態による運行がみられます。

問 地域公共交通網形成計画の作成について伺います。

市長公室長 地域公共交通網形成計画とは、公共交通の現状・問題点、課題を整理し、公共交通ネットワークを持続させることを目的に、地域の公共交通の在り方や市民・事業者・行政の役割を定めるものであり、県内27市町村が策定しています。人口減となる今後は、人の移動が大きな問題となり、巡回バスの運行のみではカバーしきれない交

通弱者も出てきますので、引き続き県との連携体制を強め策定する方向で考えてまいります。

問 デマンドタクシーの導入について、今後の方針について伺います。

市長 巡回バスについては、課題の解決に向け財政状況を踏まえ、運行管理の民間委託も視野に市民が利用しやすいように改善してまいります。巡回バスの改善のみでは対応できない課題につきま

た新しい制度を作るということを検討しながら、課題をクリアした上で、次の議会で新たな提案をしたいと思っております。



※一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

子育て世代に選ばれるまちづくりは

若者が定着できるまちづくりを進めたい



くろかわ みつお
黒川充夫 議員

車を運転する際は
安全な速度を
心掛けましょう!!

新市長の市政運営について

結城に賑わいと活力をどうしても取り戻したいと思っております。

問 結城のまちづくりの考え方について。

市長 5つの大きな政策を掲げました。その1丁目1番地が「徹底子育て支援」でございます。そして「文教都市・結城を創る」、「みんなにやさしい行政サービス」、「安心・安全な地域社会」、「強い経済で雇用を増やす」の5つでございます。この5つをしっかりと実現していくことで、この

RPA（パソコン自動処理）の導入について

問 導入による働き方改革や市民サービス向上等期待できる効果について。

市長公室長 大きく分けて4つの効果が挙げられます。1つ目は働き方改革を推進する上で重要となる「時間外勤務の削減」。2つ目は「人為的

ミスの防止」。3つ目は「24時間稼働可能」であるという点。4つ目は行政改革の視点からも重視されている「業務の効率化」でございます。今後本市にとって最適なRPAの導入に向けて調査研究を進め、引き続き業務の改善とツールの比較検討を実施してまいります。



幼児教育・保育の無償化について

問 無償化開始に伴い入所希望者が増加する恐れがあるが。

保健福祉部長 本年4月1日現在、無償化対象となる3〜5歳の児童数1,218人に対して、利用定員数の合計は1,292人となっております。保育所の確保も含め対応できる。0〜2歳児については、住民税非課税世帯等のみが無償化対象となり、本年4月1日現在

ひとり暮らし高齢者の終活支援について

問 ひとり暮らし高齢者の終活等の相談状況について。

保健福祉部長 地域包括支援センターでは、高齢者に関する様々な相談に対応しており、高齢者やその家族の方から終活についての相談を受けた場合、高齢者本人の希望に添えるように、相談者と一緒に考えております。

委員会活動 レポート

市の仕事は様々な分野にわたっていることから、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会を設置し、それぞれ分担しながら、専門的な審査と調査を行っています。

総務委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、9月17日に開催されました。初めに、防犯カメラ設置箇所及び新庁舎建設工事現場の現地調査を行いました。

防犯カメラ設置箇所である結城駅北口、国道50号バイパス文化センター南及び下り松交差点の設置状況を調査し、交通事故検証や事件捜査等の資料として、また犯罪の予防としても有効に稼働しているとの説明を受けました。

審査は、本委員会へ付託された令和元年度結城市一般会計補正予算(第2号)のうち所管事項分、結城市森林環境譲与税基金条例について、結城市印鑑条例の一部を改正する条例について、結城市公平委員会の委員の選任についての計4件について審査を行いました。なお、審査の結果、委員会に付託されました議案3件、選任1件については、すべて原案のとおり可決されました。

●総務委員会



▲新庁舎建設工事現場

●産業・建設委員会



▲新福寺北街区公園

産業・建設委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、9月18日に開催されました。初めに、結城第一工業団地上山川北部地区造成工事及び新福寺北街区公園の現地調査を行いました。

新福寺北街区公園は、契約金額26,805,600円、平成30年8月10日～平成31年3月15日の218日間で整備されました。面積は、2,498.37㎡であり、築山は現在、芝の養生中であるとの説明を受けました。

審査は、令和元年度結城市一般会計補正予算(第2号)のうち所管事項分などの補正予算5件、結城市下水道条例の一部を改正する条例についてなどの条例改正議案3件、その他の議案2件、合計10件及び「労働者協同組合法」(仮称)の早期制定を求める意見書の提出を求める請願について審査しました。なお、審査の結果、議案10件については、原案のとおり可決されましたが、請願については、なお審査を要するため、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

教育・福祉委員会は、市長・教育長・関係部課長の出席を求め、9月19日に開催されました。初めに結城市障害者福祉センターの現地調査を行いました。

障害者福祉センターは、障害者の自立と社会参加を促し、ノーマライゼーションの実現に向けた施設として建設され、同施設は平成31年4月から、社会福祉法人結城市社会福祉協議会を指定管理者としています。

審査は、本委員会へ付託された令和元年度結城市一般会計補正予算(第2号)のうち所管事項分など補正予算4件、結城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例についてなど条例改正議案3件の合計7件について審査を行いました。なお、審査の結果、委員会に付託されました議案7件については、すべて原案のとおり可決されました。

●教育・福祉委員会



▲結城市障害者福祉センター

結城市議会行政視察報告

議会運営委員会

- ・期 日 8月20日～22日
- ・調査地 愛知県安城市
- 奈良県桜井市

- ・目的 議会 ICT化の取り組みについて
- 議会改革の取り組みについて



議会運営委員会

- ・期 日 10月21日
- ・調査地 栃木県小山市
- ・目的 タブレット端末機の導入について



ケーブルテレビで生中継をしています。

結城市議会では、議場（市役所本庁舎3階）で行われている議会中の映像を、ケーブルテレビにて生中継をしています。次回、令和元年第4回定例会の放送は、12月4日、5日、6日、9日、17日の計5回を予定しています。

- 放送内容 開会 日（12月4日）
代表質問（12月5日）
一般質問（12月6日・9日）
閉会 日（12月17日）
- 放送開始時刻 午前10時
- ※チャンネルは、地上デジタル「112」

朗読

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎月、CD版の発行や対面朗読を行っています。

ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。詳しいことは、議会事務局まで（0296-32-1111 内線 304・305）

令和元年第4回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

12月	4日	本会議（開会）
	5日	代表質問
	6日・9日	一般質問
	10日・11日・12日	常任委員会
	17日	本会議（閉会）

（日程が変更になる場合もあります。）

◆編集後記◆

新市長を迎え、初めての定例会が行われました。一般質問では、今後の市政運営に対しての質問が目立ちました。厳しい財政の中ではありますが、魅力あるまちづくりをお願いしたいと思います。

さて、9月定例会は、決算特別委員会が行われます。議員は、分厚い決算書を見て質問を考える。質問の通告は行われず、答弁者は課長である。議員は、短時間で質問の意図を伝える技術が必要となり、執行部は、予算が適正に使われたことを理解してもらう説明力が問われる。傍聴人はいなかったが、白熱する議論を見てもらいたい。

（情報推進委員）

◆表紙によせて◆

表紙は10月2日～5日になくぼ総合体育館で行われた「いきいき茨城ゆめ国体2019 バレーボール少年女子」の様子です。

茨城県で国体が開催されるのは45年ぶり、大会期間中は全国から選手や応援する人々が会場に集まり、かなくぼ総合体育館は熱気に包まれました。

5日間にわたる熱戦の結果、東京都代表が優勝、茨城県代表が7位に輝き、大会は幕を閉じました。10月12日から14日に予定されていた第19回全国障害者スポーツ大会は、台風19号の接近に伴う影響を考慮し、やむを得ず中止となりました。